



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 製 麻 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 本 広 太 郎
(コード番号 3306 東証第2部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 理 部 長 中 川 昭 人
(T E L . 0 7 8 - 3 3 2 - 8 2 5 1)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 27 年 11 月 10 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,168	144	140	76	2.07
今回発表予想(B)	4,140	144	147	55	1.52
増減額(B-A)	△28	0	7	△21	—
増減率(%)	△0.7	0.0	5.0	△27.6	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	4,357	115	114	18	0.50

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,001	102	83	2.26
今回発表予想(B)	2,842	61	42	1.15
増減額(B-A)	△159	△41	△41	—
増減率(%)	△5.3	△40.2	△49.4	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	2,864	17	8	0.23

修正の理由

(1)連結業績

マット事業の海外連結子会社は下期に入り業績が回復し売上高・利益を伸ばしましたが、個別業績の影響を受け、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の予想を下回る見込みですので、通期連結業績予想を修正いたします。

(2) 個別業績

産業資材事業は原料不足により黄麻製品は高騰し売上・利益を落としました。食品事業は利益重視の施策のもと営業活動を行いました但販売数量が伸びず減収減益となりました。マット事業の国内販売は第4四半期より新規モデル用車種のマットが始まり、回復しました。

以上の結果、経常利益、当期純利益は前回発表の予想を大きく下回る見込みですので、通期個別業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以 上